

品名

固定抵抗器

1. 使用上の注意事項

1-1. 用途

高信頼性を必要とする用途（生命維持装置、原子力、航空機、人工衛星等）並びにパルス波形電流（単パルス、繰り返しパルス）及びサージ電流が流れる回路に使用される場合は、事前にご相談下さい。また、実機に実装した状態での評価、確認を必ずして下さい。

また、本製品の不具合により、人の生命、身体への障害及びその他の重大な損害の発生が予見される場合は下記の方法により、フェールセーフ設計への配慮を十分行い、安全性を確保されますようお願い致します。

①保護回路及び保護装置を設けてシステムとしての安全性を確保する。

②冗長回路等を設けて単一故障では危険が生じないようにシステムとしての安全を確保する。

1-2. 定格電力

周囲温度が定格温度を超える場合は、負荷軽減曲線に基づく規定電力以下でご使用下さい

1-3. 基板上の配置

抵抗器に自己発熱や他部品からの輻射熱等により抵抗器の表面上に異常な加熱点が生じないように、熱放散に配慮した基板材質や配置等を選定して下さい。

一般に抵抗器の自己発熱は他の部品より高いので他部品に影響を与えない様配置して下さい。

1-4. 実装

製品をピンセットなどで挟む場合、保護膜や製品本体が欠ける場合がありますので注意してください。はんだ付けは、規定された温度、時間範囲内で作業して下さい。

また、はんだ付け後は、基板が十分冷めるまで製品に外力がかからないようにして下さい。

はんだごてで製品を取り付ける場合は電極部に直接コテ先が触れないようにして下さい。

1-5. 特殊環境下での使用

水、塩水、酸、アルカリ、有機溶剤等の液体のかかる場所、有害ガスの多い場所、高温高湿結露、直射日光等の特殊環境下および振動環境下では、断線等の原因となりますので、事前お問い合わせ頂くと共に信頼性試験を十分に行って下さい。

1-6. 保管

潮風、塩素、硫化水素、アンモニア、二酸化硫黄、二酸化窒素等の腐食性ガスの多い場所では保管しないで下さい。絶縁劣化、腐食、断線等の原因となります。

高温多湿(5℃～35℃、45%RH～85%RH 以外の環境)での保管は避けてください。絶縁劣化、腐食、断線等の原因となります。

直射日光の当たる場所での保管は避けて下さい。はんだ付け性の低下の原因となります。

保管期間は、上記条件を全て遵守した上で開封の有無に関わらず1年以内として下さい。1年を超えて保管された製品のご使用に当たっては、はんだ付け性の確認を十分に行ってください。

1-7. その他

その他基本的な注意事項に関しては、社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)発行の技術レポート「EIAJ RCR-2121A：電子機器用固定抵抗器の使用上の注意事項ガイドライン」(固定抵抗器の安全アプリケーションガイドライン)をご参照下さい。